

明る い安八

2017年4月

第39号

発行責任者

日本共産党

安八支部

連絡先

西松 忠男

Tel. 64-2391

(FAX兼用)



国有地8億円値引き! 「森友学園」問題徹底追及!

戦争法、年金カット、共謀罪など安倍暴走政治ストップへ

平和と社会保障充実へ全力、日本共産党



西松 幸子 談話

「森友学園」問題では政治家の関与、首相の責任が問われており徹底究明すべきです。

また自衛隊派兵、年金カットなど安倍暴走政治ストップへ国民のみなさんと力をあわせて頑張ります。

安八町では三月定例会が閉会しました。私はおとしよりのみなさんに少しでも安心して生活していただくために、「認知症」問題について一般質問し、対策の充実を求めました。

今後みなさんの声を町政に届けががんばります。

安八町三月定例会 報告

「認知症」対策の充実などを提言

日本共産党・西松幸子議員が質問

西松議員は、現在全国の認知症患者数が平成24年で462万人、平成32年には630万人になると推計され、まさにその対策は国民的課題であると紹介しました。

そして町では、対策の一環として「認知症」カフェがサンライズ長良や安八温泉で実施され、新年度からは安八診療所でも実施予定であることに期待を示すとともに、元気サポーター養成講座で34人が受講、ゴミだしや電球の取替えなど、時間に応じて「ワンコインサービス」事業が今年度から始まることも評価しました。(ワンコインサービスの詳細は裏面)

その上で西松議員は、認知症は初期症状のうちに医療や介護の専門職が適切な治療やケアにつなげて、自立生活をサポートすることが重要だとし、「認知症初期集中支援チーム」の配置と充実を求めました。

これに対し坂福祉課長は、町内の介護認定は今年2月現在で450名、そのうち280名が認知症を患っていることを紹介。早期に専門的な対応が必要な場合には本年度立ち上げた「認知症初期集中支援チーム」が支援する体制となっていると答弁しました。

今後については、認知症専門医の指導の下で、この支援チームが本人や家族を訪問して初期の支援を包

括的・集中的に行い自立サポートを行っていくとし、さらにサロンや健康教室、老人クラブ、学校教育において認知症に対する普及啓蒙を図っていくと答弁しました。

「カエルワッペン」など実施できないか?

さらに西松幸子議員は再質問に立ち、最近外に出て家に帰ることができない例が増えていることを指摘して、本人の連絡先がわかるような「カエルワッペン」を高齢者宅に配布できないか?と提案しました。

これに対し坂福祉課長は、住所や氏名のワッペンは個人情報などの問題があるので、靴に貼れる「見守りシール」を作成し、「安八町001」など番号で台帳管理することを検討していることを明らかにしました。

「森友学園」問題徹底追及、共謀罪許すな!

日本共産党大演説会

とき 5月21日(日)午後2時~

場所 岐阜市文化センター

笠井 亮 衆院議員・政策委員長

お気軽にご参加ください

日本共産党生活相談

お気軽にどうぞ~西松幸子・64-2391

「ワンコインサービス」が 4月からはじまりますヨ!

- *町内にお住まいの65歳以上で一人暮らし
又は高齢者世帯が対象です
- *簡単な作業を「元気サポーター」がお手伝いします。
- *ワンコイン100円(10分以内の作業)
500円(10分超え40分以内)
- ☆100円のサービスでは・・・
可燃物のゴミだし、電球交換、植木の水やりなど
- ☆500円のサービスでは・・・
資源ゴミ分別だし、身の回りの掃除、季節器具の入替、日用品の買物、庭の草取りなど
- できない作業は・・・
・身体に触れる作業、金銭を扱う作業、車での送迎、機器の修理など

☆詳しくは社会福祉協議会 電話47-7704
におたずねください。

さらに4月からこんなことも 予算化されました(一部紹介)

- ◎公園遊具修繕費 379万円
(アンヒルパークの遊具、ベンチなど含む)
- ◎ふとん、カーペット回収事業 81万円
(回収は5月、12月の年二回・役場駐車場予定・一枚500円)
- ◎不妊治療費助成事業 145万円
(特定・一般・男性)
- ◎地域幹線バス事業 907万円余
(公共交通会議に諮り協議します)



さあ！待ちに待った春です
春を呼ぶさくら祭り

厳しかった冬を越えてようやく春到来です。
4月1日、キャッスルパークでさくら祭りが開催され多くの町民が参加。
こどもたちがキッズダンスも披露し楽しいひと時を過ごしました。

衆院選、日本共産党の躍進で新しい政治を 森桜ふさよし・党西濃地区委員長を擁立



日本共産党西濃地区委員会は予定される衆院選・岐阜二区の予定候補として党西濃地区委員長森桜ふさよし氏の擁立を発表しました。森桜氏は島根県出身で60歳。前回の衆院選でも二区から出馬して、25%の得票を獲得、善戦しました。森桜氏は、今国会の争点である「森友学園」問題の徹底追及、自衛隊派兵と「日報」隠し問題、共謀罪反対など、平和と社会保障、くらしを守る日本共産党のたたかいの先頭にたって奮闘しています。

一般市民・団体への監視と処罰がねらい

「共謀罪」法案は絶対に許せない!

「テロ対策」は現在の法律で十分対応できるのに、なぜ今「共謀罪」法が必要なのか?日本弁護士連合会など広範な人々の反対・懸念が広がる中で、先般「共謀罪」が強引に閣議決定され国会に法案を提出、自公政権が審議入りをねらっています。これに対し共産、民進など野党4党は阻止へ全力をあげています。

そもそも、この「共謀罪」は、憲法で保障された思想や良心の自由を侵す懸念があるとして、これまでに3回国会で廃案になっていきます。国民の日常の会話や通信を監視するために盗聴や内偵など捜査手段が拡大されるなどともない中身であり断固阻止しなければなりません。

